

2025(令和7)年12月9日
地域みらい留学参画校・
自治体・県教育委員会向け
レポート資料

【概要版】 高校魅力化評価システムを活用した地域みらい留学の効果検証

2025年12月



市町村ネットワーク推進事務局
(一財) 地域・教育魅力化プラットフォーム

本レポートの概要

本調査は、高校魅力化評価システムにご協力いただいた教職員皆さんにおいて、自校の現状把握や教育環境の改善に向けた取組に役立てていただくこと、また高校魅力化に取り組む教育委員会・自治体の皆さんにおいて、現行施策の評価および次年度施策の検討にご活用いただくことを目的として、地域みらい留学の教育的効果に関する分析を行ったものです。

分析の結果、地域みらい留学に参画している高校では、全国の高校と比較して、地域資源に触れ・考え、地域の大人と関わる学習機会が多く提供されており、「自分の暮らす地域のために役に立ちたい」といった地域貢献意欲や、「日本の将来は明るいと思う」「現在の日常生活に不安がない」といったウェルビーイングが育まれている傾向が確認できました。

また、地域みらい留学生（※）だけでなく、地元進学生に対しても、「複雑な課題を順序立てて考えることができる」「一つ二つの立場だけでなく、できるだけ多くの立場から考えようとする」といった非認知能力の向上や、「自分には良いところがある」と感じられる自己肯定感の醸成に寄与していることが明らかになりました。

さらに、学校と地域をつなぐ役割を担うコーディネーターの存在により、生徒が実社会と接しながら学ぶ機会が増え、高校1年時からより充実した学習活動・環境に恵まれ、3年間を通じた主体性・協働性・探究性・社会性の伸長にもつながっていることが示されました。

今後は、各校の取組状況（単年留学などの先進的な実践との比較など）を踏まえた、学校間比較の分析を深めていく予定です。これらの分析結果を、学校現場でのPDCAサイクルの推進や、自治体におけるEBPM（エビデンスに基づく政策立案）の基礎資料としてご活用いただければ幸いです。

※ 本レポートでは、出身中学校について「高校所在地とは異なる都道府県の中学校」と回答した生徒を「地域みらい留学生」として定義しています。

(一財) 地域・教育魅力化プラットフォーム

目次

1. 調査概要

- 本調査について
- 調査対象

2. 調査結果

- 地域みらい留学校の特徴
 - ✓ 全国 vs 地域みらい留学校の肯定回答率比較（全校平均）
 - ✓ 地域みらい留学入学生（高校1年生）の特徴
 - ✓ 地元進学生の特徴（高1→高3の変化）
- コーディネーター配置校と非配置校の比較
 - ✓ 学習活動・学習環境における高1→高3の変化
- 「多様な越境機会の創出による地域課題解決型人財育成事業」市町村ネットワーク参画校の現状
 - ✓ KPI6項目 2025年度速報値

3. 今後について

Appendix.

- 調査対象校一覧
- 設問一覧
- 高校魅力化評価システム概要

※本レポートは参画校及び自治体向けの資料として、学校名が特定可能な情報および全設問項目を含んでおります。
WEB等での公開の際は、学校名・設問項目を含む部分の非公開対応をお願いいたします。ご不明な場合は、担当までお問い合わせください。

本調査について

今年度（2025年度）は下記を目的および想定される読者とし、高校魅力化評価システムを用いた地域みらい留学の定量分析を実施

■本調査の目的

- ・自校の高校魅力化評価システム（以下、評価システム）の結果と本結果の相対比較による現状把握
- ・現状把握に基づく教育活動・教育環境のPDCAサイクルの推進と、各自治体の高校魅力化施策の事業評価および次年度施策への活用

■想定される読者

- ・評価システムにご協力いただいた学校関係者
- ・高校魅力化に取り組まれている教育行政・自治体職員

■評価システムとは

- ・学校・地域における学習活動・学習環境や、生徒の資質・能力を可視化する組織診断ツール
- ・生徒および大人に対するアンケート調査より構成
- ・「生徒の学習活動」「地域の学習環境」「生徒の自己認識」「生徒の行動実績」「生徒の満足度」の5つの要素について幅広く尋ねており、地域と高校との連携による高校魅力化を多様な側面から捉え、評価できる設計
- ・生徒の資質・能力に関する調査項目は、これから社会で求められる「主体性」「協働性」「探究性」「社会性」の4つの観点を軸に構成
- ・生徒への調査項目は全88問。各設問は前述の5つの要素×4つの観点に分類可能（一部いずれにもあてはまらない項目も存在）
- ・各調査項目は「1.あてはまらない」「2.どちらかといえばあてはまらない」「3.どちらかといえばあてはまる」「4.あてはまる」で回答

■各指標の算出方法

- ・生徒に対するアンケート調査結果を集計
- ・肯定回答率
 - 回答項目のうち「3.どちらかといえばあてはまる」「4.あてはまる」を肯定回答とみなし、回答数を母数とした肯定回答割合で算出
- ・高1→高3の変化
 - 2022-24年度の3年間、継続的な回答がある学校を対象
 - 2022年度高校1年生・2024年度高校3年生の肯定回答率を基に「2024年度高校3年生の肯定回答率」 - 「2022年度高校1年生の肯定回答率」で算出

調査対象（1/3）

※対象の地域みらい留学校はAppendix参照

■全国 vs 地域みらい留学校の肯定回答率比較（全校平均）

【対象】

- 2022/2023/2024年度に評価システムに回答した全国の高校の全校生徒
 - 2022年度…296校103,951人（うち、地域みらい留学校は43校6,272人）
 - 2023年度：346校119,657人（うち、地域みらい留学校は60校8,097人）
 - 2024年度：358校119,214人（うち、地域みらい留学校は74校9,325人）

【集計項目】

- 年度および学習活動/学習環境/自己認識/行動実績/ウェルビーイング別に、各要素に属する設問の、全国と地域みらい留学校の全校平均肯定回答率を比較
- 年度および学習活動/学習環境/自己認識/行動実績/ウェルビーイング別に、全国よりも地域みらい留学校の方が全校平均肯定回答率が高い上位3つの設問を抽出

■地域みらい留学入学生（高校1年生）の特徴

【対象】

- 全国平均
 - 対象校：2022-2024年度の3ヵ年評価システム申込校206校
 - 対象生徒：2022年度高校1年生24,911人
- 地域みらい留学生
 - 対象校：2022-2024年度の3ヵ年評価システム申込校かつ地域みらい留学校である38校
 - 対象生徒：出身中学を「高校と違う都道府県にある中学校」と回答した、2022年度高校1年生221人
- 地元進学生
 - 対象校：2022-2024年度の3ヵ年評価システム申込校かつ地域みらい留学校である38校
 - 対象生徒：出身中学を「高校と違う都道府県にある中学校」以外と回答した、2022年度高校1年生1,549人

【集計項目】

- 自己認識に属する設問を対象に、全国平均と地域みらい留学生、地元進学生の肯定回答率を比較
- 「地域みらい留学生」 - 「全国平均」で、肯定回答率差異が大きい上位5つの設問を抽出

調査対象（2/3）

※対象の地域みらい留学校はAppendix参照



■地元進学生の特徴（高1→高3の変化）

【対象】

- 全国平均
 - 対象校：2022-2024年度の3ヵ年、評価システムを活用した全国の高校206校
 - 対象生徒：2022年度高校1年生24,911人、2024年度高校3年生22,909人
- 地域みらい留学生
 - 対象校：2022-2024年度の3ヵ年評価システム活用校かつ地域みらい留学校である38校
 - 対象生徒：出身中学を「高校と違う都道府県にある中学校」と回答した、2022年度高校1年生221人、2024年度高校3年生213人
- 地元進学生
 - 対象校：2022-2024年度の3ヵ年評価システム活用校かつ地域みらい留学校である38校
 - 対象生徒：出身中学を「高校と違う都道府県にある中学校」以外と回答した、2022年度高校1年生1,549人、2024年度高校3年生1,581人

【集計項目】

- 自己認識に属する設問を対象に、全国平均と地域みらい留学生、地元進学生の高校1年生→高校3年生の肯定回答率の伸びを比較
- 地元進学生の高校1年生→高校3年生の肯定回答率の伸びが大きい上位5つの設問を抽出

■コーディネーター配置校と非配置校の比較 学習活動・学習環境における高1→高3の変化

【対象】

- コーディネーター配置校
 - 対象校：2022-2024年度の3ヵ年評価システム申込校206校かつコーディネータを配置している30校
 - 対象生徒：2022年度高校1年生1,389人、2024年度高校3年生1,329人
- コーディネーター非配置校
 - 対象校：2022-2024年度の3ヵ年評価システム申込校206校のうち、コーディネータを配置していない176校
 - 対象生徒：2022年度高校1年生23,522人、2024年度高校3年生21,580人

【集計項目】

- 学習活動/学習環境別に、主体性/協働性/探究性/社会性に属する質問項目の肯定回答率平均を算出
- コーディネーター配置校と非配置校の高校1年生→高校3年生の肯定回答率平均の伸びを比較

調査対象（3/3）

※対象の地域みらい留学校・共創校はAppendix参照

■ 「多様な越境機会の創出による地域課題解決型人財育成事業」市町村ネットワーク参画校の現状（KPI6項目 2025年度速報値）

【対象】

- ・「多様な越境機会の創出による地域課題解決型人財育成事業」市町村ネットワーク参画校（以下、ネットワーク参画校）
 - 対象校：ネットワーク参画校、かつ2025年度の評価システム回答済みの43校
 - 対象生徒：全校生徒4,016人
- ・全国平均
 - 対象校：2025年度の評価システム申込校かつ回答済みの約300校※
 - 対象生徒：全校生徒100,736人
- ・共創校
 - 対象校：ネットワーク参画校のうち単年留学推進校、かつ2025年度の評価システム回答済みの8校
 - 対象生徒：全校生徒922人

【集計項目】

- ・「多様な越境機会の創出による地域課題解決型人財育成事業」で設定しているKPI6項目の、ネットワーク参画校と全国平均、共創校の全校平均肯定回答率を比較

※校数は概算。確定値は12月末リリース予定の詳細版にて展開予定

地域みらい留学校の特徴 全国 vs 地域みらい留学校の肯定回答率比較『学習活動』

- 地域みらい留学校では、地域の魅力や資源・課題の解決方法について考えたり、大人と話し合ったり、学校外の色々な人に話を聞きに行ったり等、"地域と繋がる"学習が積極的に行われていることが明らかになった

■学習活動 地域みらい留学校>全国 全校平均 肯定回答率差異TOP3項目（2022-24年度）

【2022年度】

#	設問	差異
1	14.地域の魅力や資源について考える	+20.2%
2	15.地域の課題の解決方法について考える	+15.8%
3	6.学校外のいろいろな人に話を聞きに行く	+13.1%

【2023年度】

#	設問	差異
1	14.地域の魅力や資源について考える	+25.1%
2	15.地域の課題の解決方法について考える	+18.2%
3	9.活動、学習内容について大人（教員や地域の大人）と話し合う	+16.0%

【2024年度】

#	設問	差異
1	14.地域の魅力や資源について考える	+17.8%
2	15.地域の課題の解決方法について考える	+16.6%
3	6.学校外のいろいろな人に話を聞きに行く	+15.0%

地域みらい留学校の特徴 全国 vs 地域みらい留学校の肯定回答率比較『学習環境』

- 地域みらい留学校では、地域の人や課題にじかに触れ、地域から大切にされている雰囲気を感じながら、外からの視点で地域を考える環境が整備されていることが明らかになった

■学習環境 地域みらい留学校>全国 全校平均 肯定回答率差異TOP3項目（2022-24年度）

【2022年度】

#	設問	差異
1	29.地域の人や課題などにじかに触れる機会がある	+18.3%
2	32.自分の暮らす地域を、外からの視点で考える機会がある	+10.7%
3	19.地域から大切にされている雰囲気を感じる	+8.9%

【2023年度】

#	設問	差異
1	29.地域の人や課題などにじかに触れる機会がある	+21.6%
2	32.自分の暮らす地域を、外からの視点で考える機会がある	+14.2%
3	19.地域から大切にされている雰囲気を感じる	+8.2%

【2024年度】

#	設問	差異
1	29.地域の人や課題などにじかに触れる機会がある	+18.7%
2	32.自分の暮らす地域を、外からの視点で考える機会がある	+13.4%
3	30.人の挑戦に関わらせてもらえる機会がある	+7.1%

地域みらい留学校の特徴 全国 vs 地域みらい留学校の肯定回答率比較『自己認識』

- 地域みらい留学校では、地域社会のフィールドワークが積極的になされており、「地域の問題に関わりたい」「地域の価値ある部分を自らの手で未来に伝えていきたい」等、地域への貢献意欲が醸成されていると言える

■自己認識 地域みらい留学校>全国 全校平均 肯定回答率差異TOP3項目（2022-24年度）

【2022年度】

#	設問	差異
1	61.地域社会の魅力や課題について、自主的にテーマを設定し、フィールドワーク等を行いながら調べ、考える学習活動に対して、熱心に取り組んでいる	+6.7%
2	58.将来、自分の住んでいる地域のために役に立ちたいという気持ちがある	+0.2%
3	60.住んでいる地域の文化や暮らしの価値ある部分を、自らの手で未来に伝えていきたい	-0.6%

【2023年度】

#	設問	差異
1	61.地域社会の魅力や課題について、自主的にテーマを設定し、フィールドワーク等を行いながら調べ、考える学習活動に対して、熱心に取り組んでいる	+6.8%
2	56.地域をよりよくするため、地域における問題に関わりたい	+2.3%
3	59.地域で起きている課題と世界で起きている課題は、お互いに関連しあっていると感じる	+1.2%

【2024年度】

#	設問	差異
1	61.地域社会の魅力や課題について、自主的にテーマを設定し、フィールドワーク等を行いながら調べ、考える学習活動に対して、熱心に取り組んでいる	+6.3%
2	56.地域をよりよくするため、地域における問題に関わりたい	+3.1%
3	60.住んでいる地域の文化や暮らしの価値ある部分を、自らの手で未来に伝えていきたい	+1.2%

地域みらい留学校の特徴 全国 vs 地域みらい留学校の肯定回答率比較『行動実績』

- 地域みらい留学校では、地域のボランティア活動や行事への参加が積極的になされており、ゆえに地域の大人と会話を交わす機会も多いと言える

■行動実績 地域みらい留学校>全国 全校平均 肯定回答率差異TOP3項目（2022-24年度）

【2022年度】

#	設問	差異
1	70.地域社会などでボランティア活動に参加した	+9.5%
2	69.いま住んでいる地域の行事に参加した	+8.7%
3	77.先生、保護者以外の地域の大人と、なにげない会話を交わした	+8.4%

【2023年度】

#	設問	差異
1	70.地域社会などでボランティア活動に参加した	+15.2%
2	69.いま住んでいる地域の行事に参加した	+11.4%
3	77.先生、保護者以外の地域の大人と、なにげない会話を交わした	+9.1%

【2024年度】

#	設問	差異
1	69.いま住んでいる地域の行事に参加した	+14.5%
2	70.地域社会などでボランティア活動に参加した	+14.3%
3	77.先生、保護者以外の地域の大人と、なにげない会話を交わした	+8.3%

地域みらい留学校の特徴 全国 vs 地域みらい留学校の肯定回答率比較『ウェルビーイング』

- 地域みらい留学校の生徒は、全国の生徒に比べ、日常生活に不安や心配事が少なく、自分や日本の将来に明るい希望を持っている傾向にあると言える

■ ウェルビーイング 地域みらい留学校 > 全国 全校平均 肯定回答率差異TOP3項目（2022-24年度）

【2022年度】

#	設問	差異
1	89.日本の将来は明るいと思う	+3.2%
2	83.現在の日常生活に不安や心配事がない	+2.3%
3	86.自分の将来についての見通し（将来こういう風でありたい）を持っている	+1.4%

【2023年度】

#	設問	差異
1	83.現在の日常生活に不安や心配事がない	+3.1%
2	89.日本の将来は明るいと思う	+1.8%
3	86.自分の将来についての見通し（将来こういう風でありたい）を持っている	+1.4%

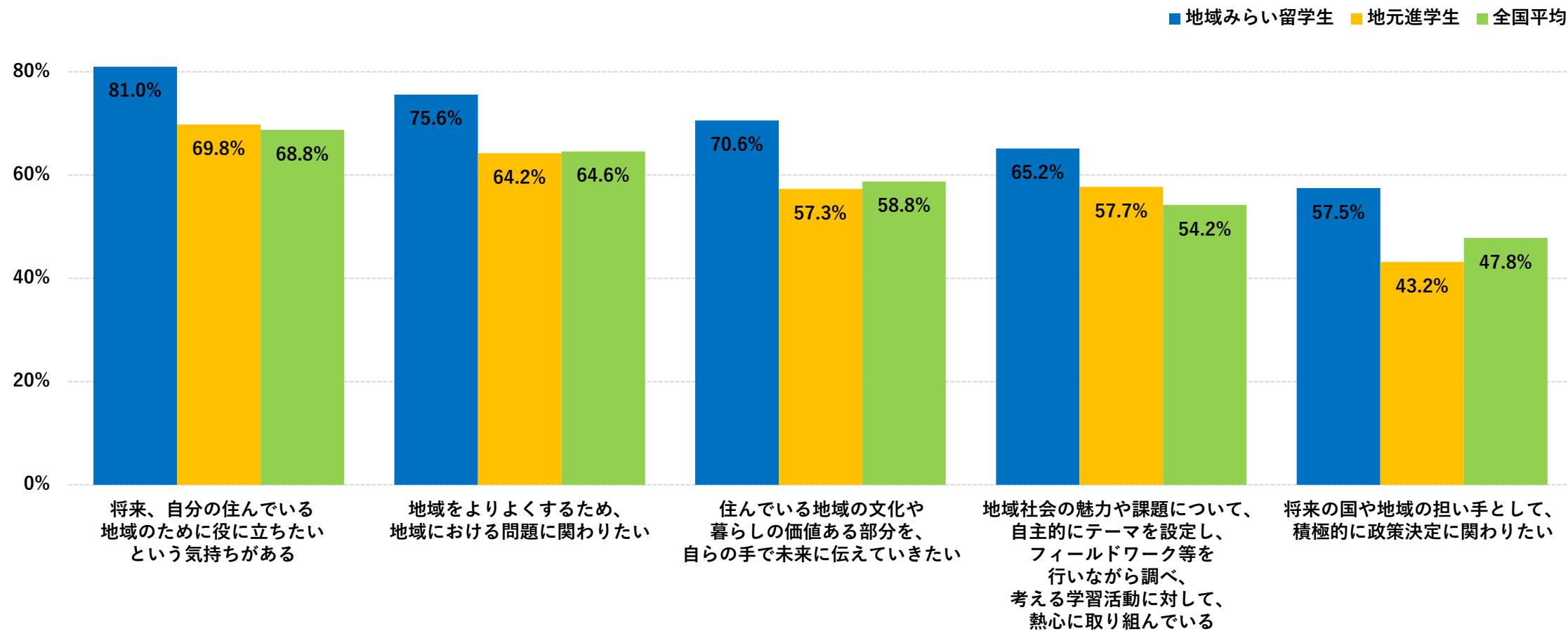
【2024年度】

#	設問	差異
1	83.現在の日常生活に不安や心配事がない	+2.7%
2	60.住んでいる地域の文化や暮らしの価値ある部分を、自らの手で未来に伝えていきたい	+1.2%
3	58.将来、自分の住んでいる地域のために役に立ちたいという気持ちがある	+1.2%

地域みらい留学生（高校1年生）の特徴

- 地域みらい留学生として入学する生徒は、地域への興味・関心が高く、地域の学習に積極的であることに加え、「地域のために役に立ちたい」「地域における問題に関わりたい」等、地域への貢献意欲も高い傾向にある

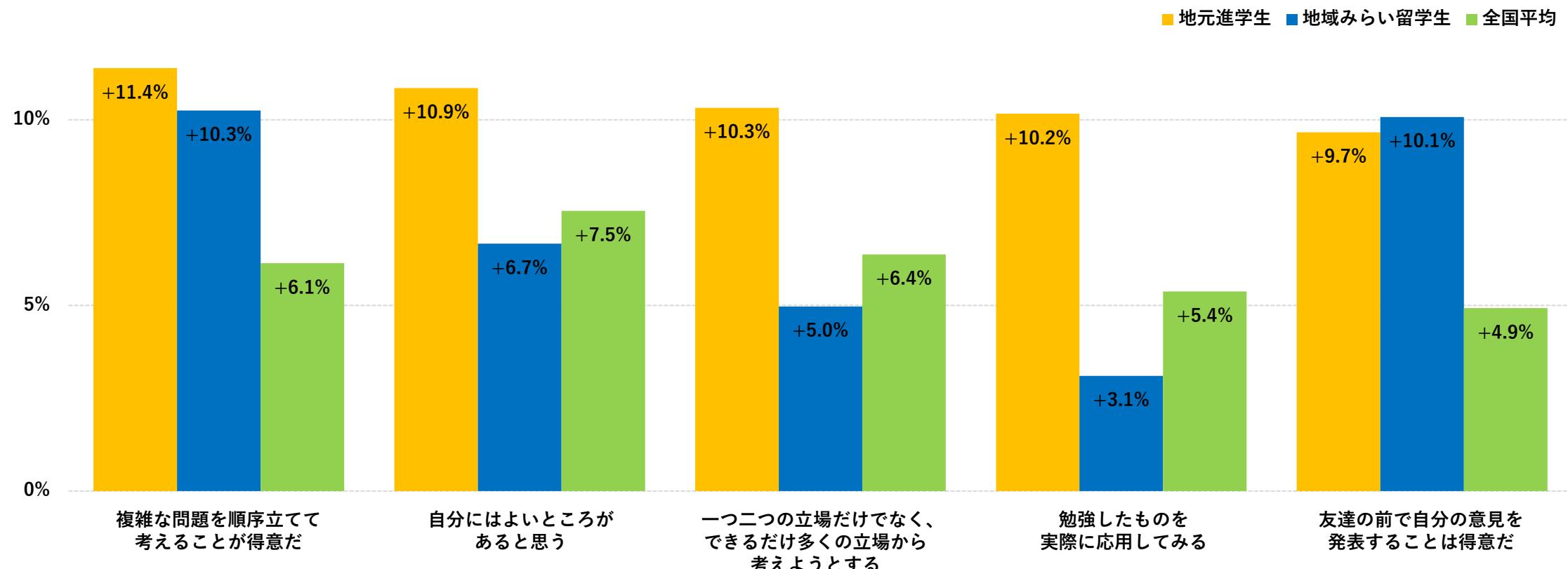
地域みらい留学生・地元進学生・全国平均との比較 TOP5項目（2022年度高校1年生）



地元進学生の特徴 高1→高3の変化

- 地元進学生は高校3年間を通じて、ロジカルシンキングや自己肯定感、多角的視点、応用力、発表力等の多様な非認知能力を10pt以上伸ばしており、高校3年生時点で全国平均と同水準にまで伸長している

高1→高3での自己認識の変化比較 TOP5項目（地元進学生・地域みらい留学生・全国平均）

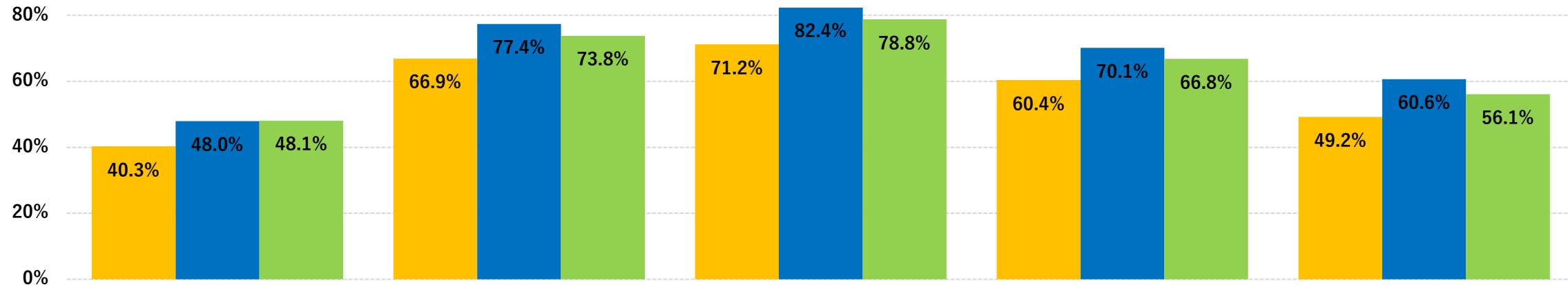


(ご参考) 地元進学生変化率上位5項目 高1・高3時点での肯定回答率

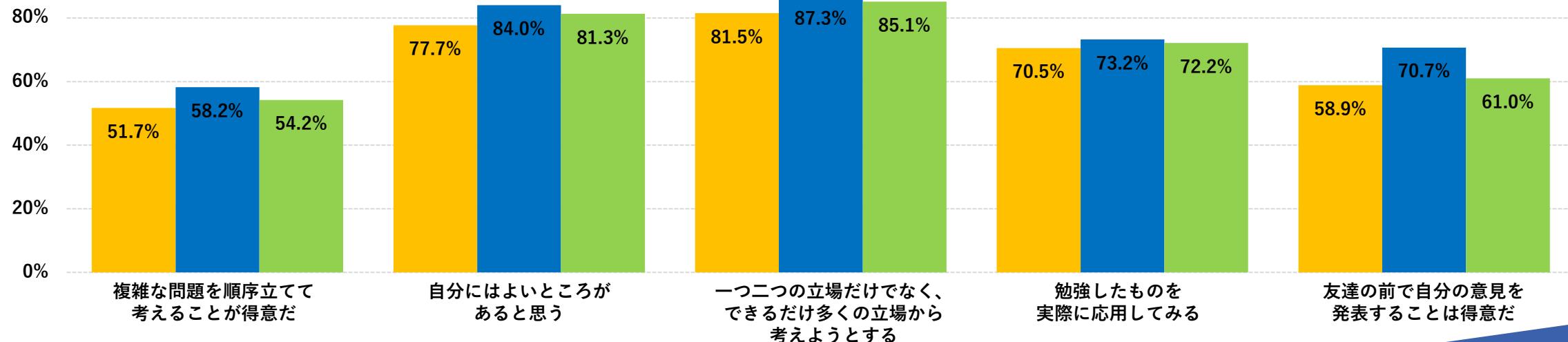
- 地元進学生は、いずれの項目においても高校3年生時点では全国平均と大差ない水準にまで急伸している

地元進学生と地域みらい留学生と全国平均の比較 TOP5項目

【2022年度 高校1年生】



【2024年度 高校3年生】

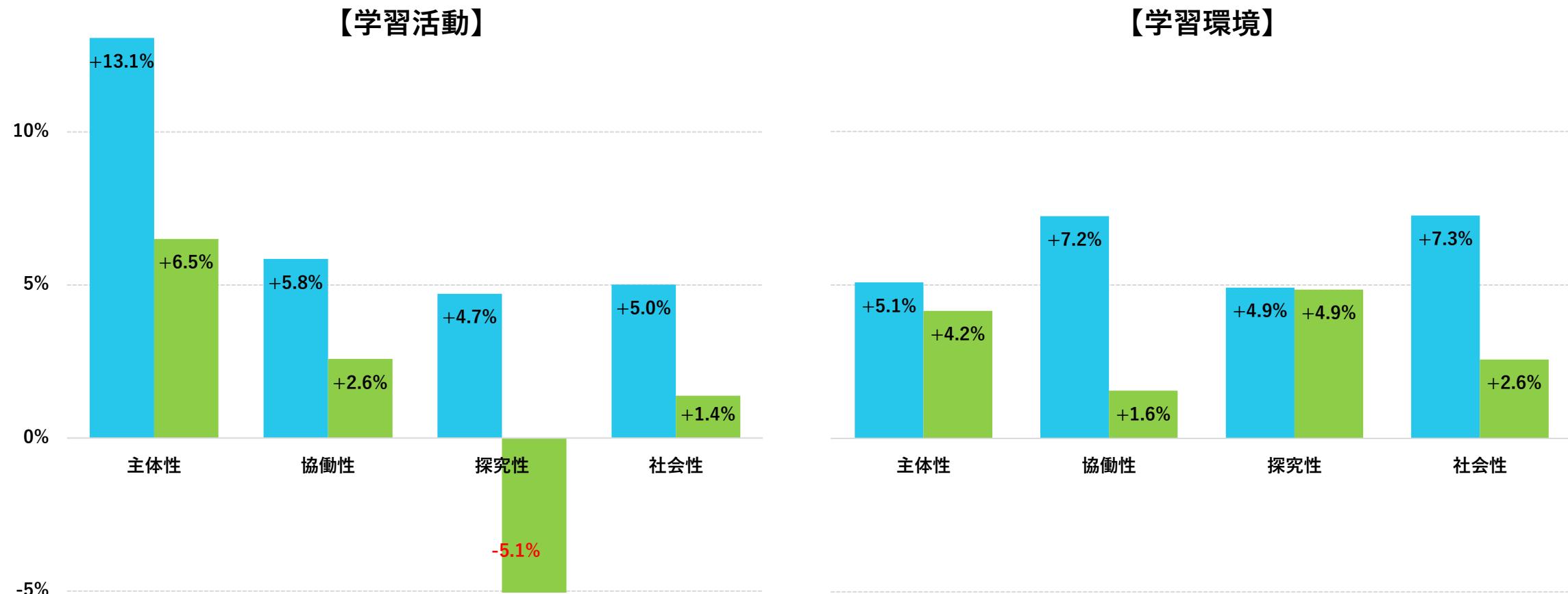


コーディネーター配置校と非配置校の比較 学習活動・学習環境における高1→高3の変化

- コーディネーター配置校は、主体性・協働性・探究性・社会性いずれの観点においても、学習活動・学習環境とともに、非配置校比で高校3年間の伸びが大きく、コーディネーターの存在が学習活動や学習環境の整備に寄与することが示唆された

コーディネーター配置校と非配置校 高1→高3での環境面での変化

■ コーディネーター配置校生 ■ 非配置校生

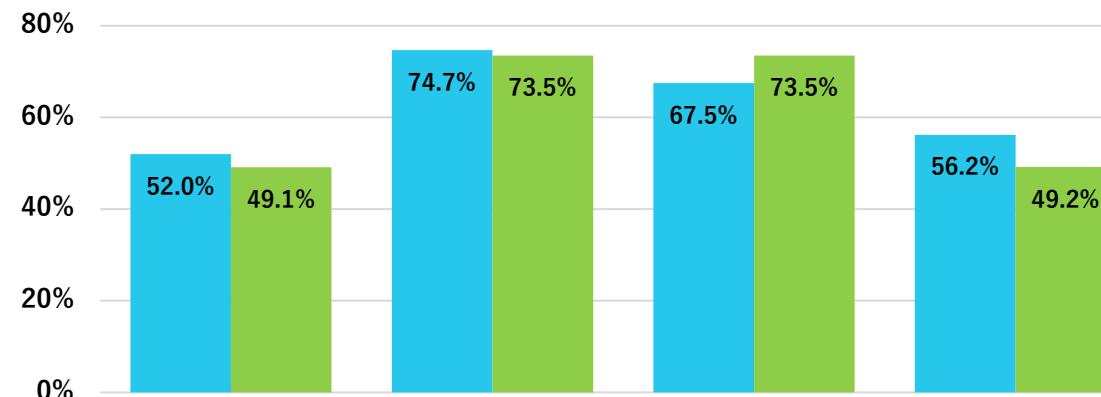
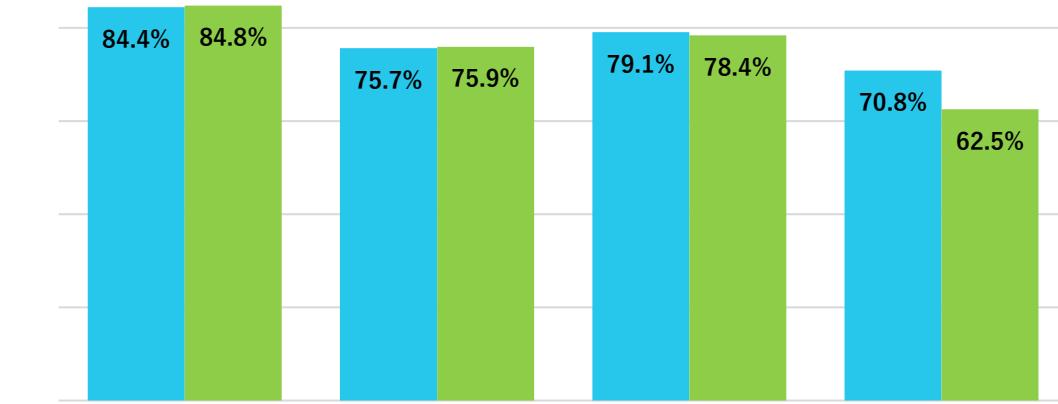


(ご参考) コーディネーター配置校と非配置校 環境面における高1・高3時点での肯定回答率

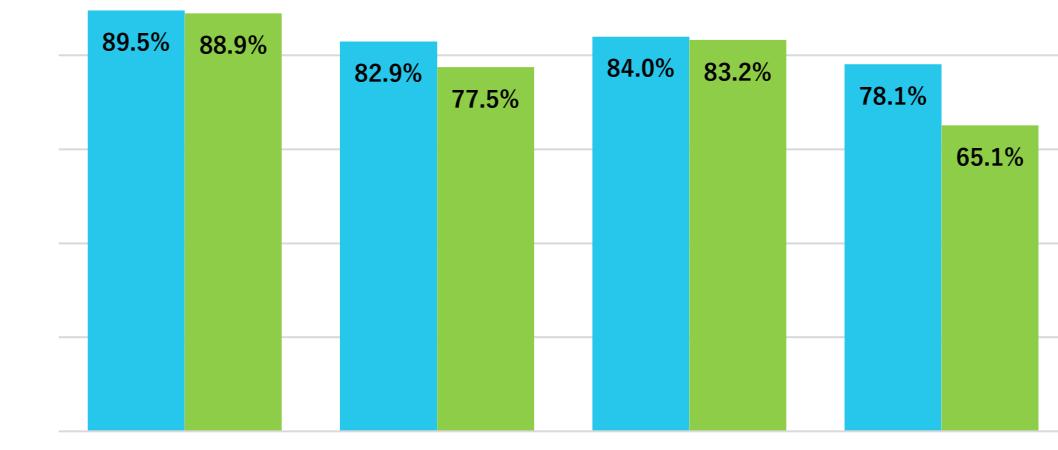
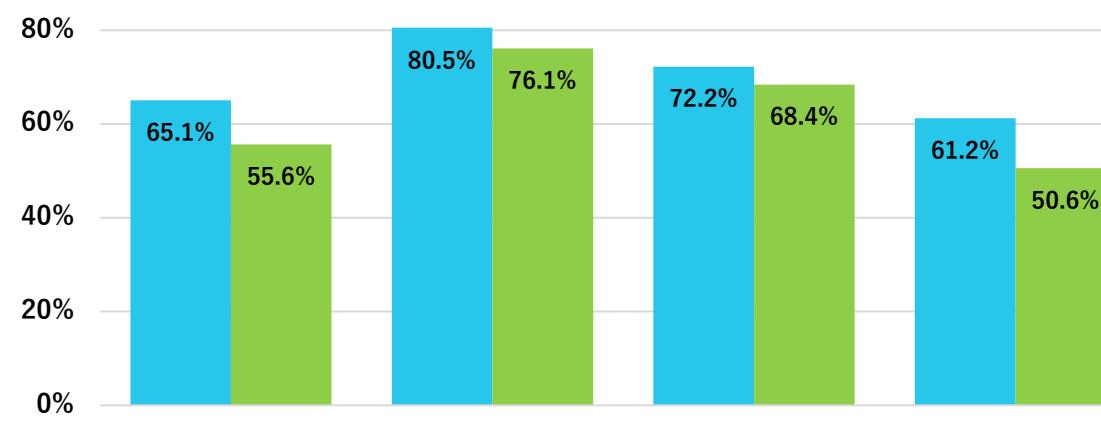
- コーディネーター配置校は非配置校に比べ、高1時点から学習活動・学習環境が整備されている傾向にあるが、高3にかけてその差をさらに伸長させていると言える

コーディネーター配置校と非配置校の比較 環境面

【2022年度 高校1年生】


■ コーディネーター配置校生 ■ 非配置校生


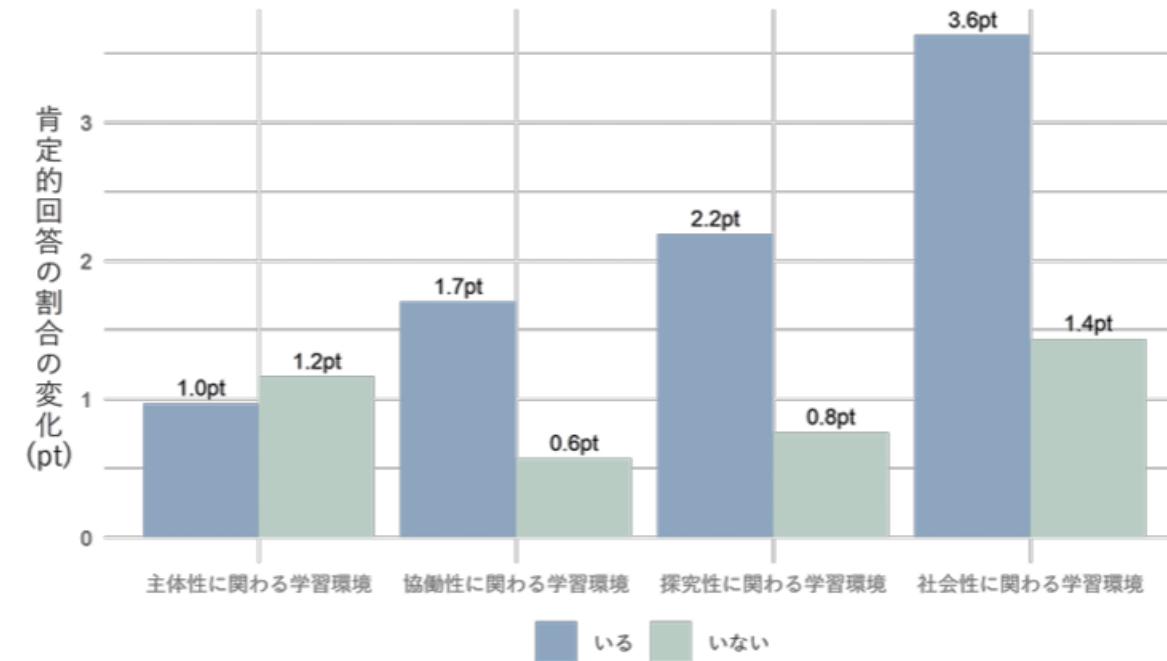
【2024年度 高校3年生】



(ご参考) 過去調査事例

- 同様の調査を、2022年に三菱UFJリサーチ＆コンサルティング株式会社と共同で実施
参考：2022/3/10 ニュースリリース「高校と地域の協働が、生徒の資質能力の向上と人口減少の緩和に効果」
https://www.murc.jp/news/news_release/news_release_220310/
- 対象年度・期間は異なるものの、教員以外のスタッフ（コーディネーター等）を配置している学校では、そうでない学校と比べ、学習環境が豊かであるという結果が出ており、今回の詳細調査によってさらなる裏取りがなされた

図表3 教員以外のスタッフの有無(2020)と学習環境(2020-2021変化)



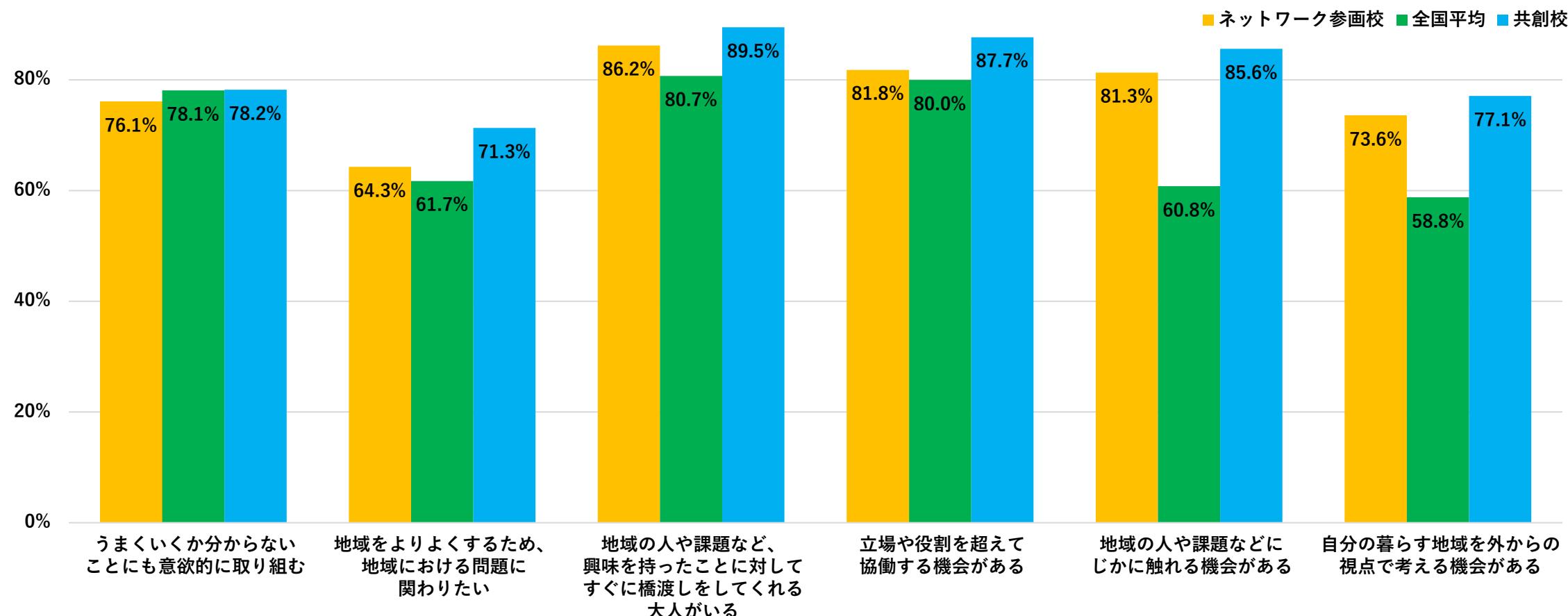
出所)島根県調査データより当社作成

グラフ注釈)伸びを分析するため、2020年と2021年いずれの調査も回答した6,880人を分析対象とした。

「多様な越境機会の創出による地域課題解決型人財育成事業」市町村ネットワーク参画校の現状

- 第2世代交付金「多様な越境機会の創出による地域課題解決型人財育成事業」で設定するKPI6項目の2025年度速報値を比較すると、ネットワーク参画校はほぼ全ての項目で全国平均を上回る一方、共創校には全項目で下回っており、今後の伸びしろが伺える

KPI6項目 全国平均・共創校との比較（2025年度速報値）



今後の取り組み事項（予定）

2025年12月末頃を目途に、「『高校魅力化評価システム』を活用した地域みらい留学の効果検証 詳細版」を発行予定
本概要版から、新たに追加を想定している内容は下記の通り

追加内容（想定案）

- ・ 共創校※の特徴
- ・ 地域みらい留学生の特徴（高1→高3の変化）
- ・ 学習活動/学習環境と、自己認識/行動実績/ウェルビーイングの相関
(どのような学習活動や学習環境を整備したら、生徒の行動実績や自己認識・ウェルビーイング向上に繋がるか)
- ・ 「多様な越境機会の創出による地域課題解決型人財育成事業」推進に向けたロジックモデル
- ・ 小規模校と大規模校における、"教育環境の充実度合い"および"自己認識の高1→高3の変化"に関する比較

※共創校：市町村ネットワーク参画校かつ単年留学推進校

調査対象校一覧①

WEB等での公開は不可

対象調査結果

- ✓ 全国 vs 地域みらい留学校の肯定回答率比較（全校平均）

■対象の地域みらい留学校（全82校）

#	都道府県	学校名	2022	2023	2024
1	北海道	北海道奥尻高等学校		●	
2	北海道	北海道知内高等学校			●
3	北海道	北海道ニセコ高等学校		●	●
4	北海道	北海道夕張高等学校		●	●
5	北海道	北海道東川高等学校			●
6	北海道	北海道苫前商業高等学校		●	●
7	北海道	北海道湧別高等学校		●	●
8	北海道	北海道斜里高等学校			●
9	北海道	北海道大空高等学校	●	●	●
10	北海道	北海道鵡川高等学校	●	●	●
11	北海道	北海道平取高等学校			●
12	北海道	北海道池田高等学校			●
13	北海道	北海道大樹高等学校		●	
14	北海道	北海道鹿追高等学校		●	●
15	北海道	北海道更別農業高等学校		●	●
16	北海道	北海道標津高等学校			●
17	北海道	北海道白糠高等学校		●	●
18	北海道	北海道弟子屈高等学校		●	●
19	北海道	北海道礼文高等学校		●	
20	岩手県	岩手県立沼宮内高等学校	●	●	●
21	岩手県	岩手県立葛巻高等学校	●	●	●
22	岩手県	岩手県立平館高等学校	●	●	●
23	岩手県	岩手県立大迫高等学校	●	●	●
24	岩手県	岩手県立西和賀高等学校	●	●	●
25	岩手県	岩手県立住田高等学校	●	●	●
26	岩手県	岩手県立遠野高等学校	●	●	●
27	岩手県	岩手県立遠野綠峰高等学校	●	●	●
28	岩手県	岩手県立大槌高等学校	●	●	●
29	岩手県	岩手県立宮古水産高等学校	●	●	●
30	岩手県	岩手県立岩泉高等学校	●	●	●
31	岩手県	岩手県立種市高等学校	●	●	●
32	岩手県	岩手県立伊保内高等学校	●	●	●
33	山形県	山形県立小国高等学校	●	●	●

#	都道府県	学校名	2022	2023	2024
34	福島県	福島県立川口高等学校		●	●
35	福島県	福島県立只見高等学校		●	●
36	茨城県	茨城県立大子清流高等学校		●	●
37	富山県	富山県立南砺平高等学校			●
38	石川県	石川県立能登高等学校		●	●
39	福井県	福井県立丸岡高等学校	●		
40	長野県	長野県白馬高等学校			●
41	静岡県	静岡県立川根高等学校			●
42	兵庫県	兵庫県立村岡高等学校	●		
43	和歌山県	和歌山県立串本古座高等学校		●	●
44	島根県	島根県立横田高等学校	●	●	●
45	島根県	島根県立飯南高等学校	●	●	●
46	島根県	島根県立大田高等学校	●	●	●
47	島根県	島根県立矢上高等学校	●	●	●
48	島根県	島根県立江津高等学校	●	●	●
49	島根県	島根県立浜田水産高等学校	●	●	●
50	島根県	島根県立吉賀高等学校	●	●	●
51	島根県	島根県立津和野高等学校	●	●	●
52	島根県	島根県立隱岐高等学校	●	●	●
53	島根県	島根県立隱岐島前高等学校	●	●	●
54	島根県	島根県立隱岐水産高等学校	●	●	●
55	島根県	島根県立情報科学高等学校	●	●	●
56	島根県	島根県立島根中央高等学校	●	●	●
57	岡山県	岡山県立和気閑谷高等学校	●	●	●
58	広島県	広島県立加計高等学校			●
59	広島県	広島県立西城紫水高等学校			●
60	広島県	広島県立大崎海星高等学校	●		●
61	広島県	広島県立加計高等学校芸北分校			●
62	徳島県	徳島県立城西高等学校神山校	●	●	●
63	徳島県	徳島県立池田高等学校	●	●	●
64	香川県	香川県立小豆島中央高等学校	●	●	●
65	愛媛県	愛媛県立三崎高等学校	●	●	●
66	高知県	高知県立室戸高等学校	●	●	●

#	都道府県	学校名	2022	2023	2024
67	高知県	高知県立嶺北高等学校	●	●	●
68	高知県	高知県立四万十高等学校	●	●	●
69	高知県	高知県立大方高等学校	●	●	●
70	高知県	高知県立中村高等学校西土佐分校	●	●	●
71	佐賀県	佐賀県立有田工業高等学校	●	●	●
72	佐賀県	佐賀県立唐津青翔高等学校	●	●	●
73	熊本県	熊本県立小国高等学校			●
74	熊本県	熊本県立矢部高等学校			●
75	熊本県	熊本県立芦北高等学校			●
76	熊本県	熊本県立上天草高等学校			●
77	大分県	大分県立安心院高等学校			●
78	大分県	大分県立久住高原農業高等学校			●
79	宮崎県	宮崎県立高千穂高等学校			●
80	宮崎県	宮崎県立飯野高等学校			●
81	鹿児島県	鹿児島県立屋久島高等学校	●	●	
82	鹿児島県	鹿児島県立種子島高等学校		●	

調査対象校一覧②

WEB等での公開は不可



対象調査結果

- ✓ 地域みらい留学入学生（高校1年生）の特徴
- ✓ 地元進学生の特徴（高1→高3の変化）
- ✓ コーディネーター配置校と非配置校の比較 学習活動・学習環境における高1→高3の変化

■対象の地域みらい留学校（全38校）

#	都道府県	学校名
1	北海道	北海道大空高等学校
2	北海道	北海道鶏川高等学校
3	岩手県	岩手県立沼宮内高等学校
4	岩手県	岩手県立葛巻高等学校
5	岩手県	岩手県立平館高等学校
6	岩手県	岩手県立大迫高等学校
7	岩手県	岩手県立西和賀高等学校
8	岩手県	岩手県立住田高等学校
9	岩手県	岩手県立遠野高等学校
10	岩手県	岩手県立遠野緑峰高等学校
11	岩手県	岩手県立大槌高等学校
12	岩手県	岩手県立宮古水産高等学校
13	岩手県	岩手県立岩泉高等学校
14	岩手県	岩手県立種市高等学校
15	岩手県	岩手県立伊保内高等学校
16	山形県	山形県立小国高等学校
17	島根県	島根県立横田高等学校
18	島根県	島根県立飯南高等学校
19	島根県	島根県立矢上高等学校
20	島根県	島根県立浜田水産高等学校
21	島根県	島根県立吉賀高等学校
22	島根県	島根県立津和野高等学校
23	島根県	島根県立隱岐高等学校
24	島根県	島根県立隱岐島前高等学校
25	島根県	島根県立隱岐水産高等学校

#	都道府県	学校名
26	島根県	島根県立情報科学高等学校
27	島根県	島根県立島根中央高等学校
28	岡山県	岡山県立和気閑谷高等学校
29	徳島県	徳島県立城西高等学校神山校
30	徳島県	徳島県立池田高等学校
31	高知県	高知県立室戸高等学校
32	高知県	高知県立嶺北高等学校
33	高知県	高知県立四万十高等学校
34	高知県	高知県立大方高等学校
35	高知県	高知県立中村高等学校西土佐分校
36	佐賀県	佐賀県立有田工業高等学校
37	佐賀県	佐賀県立唐津青翔高等学校
38	鹿児島県	鹿児島県立屋久島高等学校

調査対象校一覧③

WEB等での公開は不可



対象調査結果

✓「多様な越境機会の創出による地域課題解決型人財育成事業」市町村ネットワーク参画校の現状 KPI6項目 2025年度速報値

■ 「多様な越境機会の創出による地域課題解決型人財育成事業」市町村ネットワーク参画校（全43校）

#	都道府県	学校名
1	北海道	北海道奥尻高等学校
2	北海道	北海道ニセコ高等学校
3	北海道	北海道夕張高等学校
4	北海道	北海道幌加内高等学校
5	北海道	北海道おといねっぷ美術工芸高等学校
6	北海道	北海道苫前商業高等学校
7	北海道	北海道湧別高等学校
8	北海道	北海道大空高等学校
9	北海道	北海道鵟川高等学校
10	北海道	北海道平取高等学校
11	北海道	北海道上士幌高等学校
12	北海道	北海道鹿追高等学校
13	北海道	北海道標津高等学校
14	北海道	北海道弟子屈高等学校
15	北海道	北海道上ノ国高等学校
16	岩手県	岩手県立大迫高等学校
17	岩手県	岩手県立西和賀高等学校
18	岩手県	岩手県立大槌高等学校
19	岩手県	岩手県立岩泉高等学校
20	山形県	山形県立小国高等学校
21	山形県	山形県立遊佐高等学校
22	山形県	山形県立新庄南高等学校金山校
23	福島県	福島県立川口高等学校
24	福島県	福島県立只見高等学校
25	茨城県	茨城県立大子清流高等学校
26	新潟県	新潟県立中条高等学校
27	新潟県	新潟県立阿賀黎明高等学校
28	石川県	石川県立能登高等学校
29	福井県	福井県立丸岡高等学校
30	長野県	長野県白馬高等学校

#	都道府県	学校名
31	静岡県	静岡県立川根高等学校
32	静岡県	静岡県立伊豆総合高等学校土肥分校
33	奈良県	五条市立西吉野農業高等学校
34	島根県	島根県立横田高等学校
35	島根県	島根県立隱岐島前高等学校
36	島根県	島根県立島根中央高等学校
37	岡山県	岡山県立和気閑谷高等学校
38	岡山県	岡山県立勝山高等学校蒜山校地
39	広島県	広島県立大崎海星高等学校
40	愛媛県	愛媛県立松山南高等学校砥部分校
41	高知県	高知県立嶺北高等学校
42	鹿児島県	鹿児島県立南大隅高等学校
43	沖縄県	沖縄県立久米島高等学校

■ 共創校（全8校）

#	都道府県	学校名
1	北海道	北海道大空高等学校
2	山形県	山形県立小国高等学校
3	山形県	山形県立遊佐高等学校
4	石川県	石川県立能登高等学校
5	島根県	島根県立隱岐島前高等学校
6	島根県	島根県立島根中央高等学校
7	広島県	広島県立大崎海星高等学校
8	高知県	高知県立嶺北高等学校

※共創校：市町村ネットワーク参画校かつ単年留学推進校
(宮崎県飯野高等学校は詳細版について追加予定)

設問一覧 (1/3)

WEB等での公開は不可

■学習活動

主体性に関わる学習活動

- 5.自主的に調べ物や取材を行う
- 6.学校外のいろいろな人に話を聞きに行く

協働性に関わる学習活動

- 7.グループで協力しながら学習や調べものを行う
- 8.活動、学習内容について生徒同士で話し合う
- 9.活動、学習内容について大人（教員や地域の大人）と話し合う
- 13.生徒同士で活動、学習の振り返りを行う

探究性に関わる学習活動

- 10.自分の考えを文章や図表にまとめる
- 11.話し合った内容をまとめる
- 12.活動、学習のまとめを発表する

社会性に関わる学習活動

- 14.地域の魅力や資源について考える
- 15.地域の課題の解決方法について考える
- 16.日本や世界の課題の解決方法について考える

■学習環境

主体性に関わる学習環境

- 20.失敗してもよいという安全・安心な雰囲気がある
- 21.挑戦する人に対して、応援する雰囲気がある
- 26.自分が何かに挑戦しようと思ったとき、周りは手を差し伸べてくれる
- 33.目標や当事者意識を持って挑戦している人がいる
- 35.周りの大人は、自分に関わることについて自分で決める 것을 尊重してくれる

協働性に関わる学習環境

- 22.人と違うことが尊重される雰囲気がある
- 23.ありのままの自分が尊重される雰囲気がある
- 27.自分と異なる立場や役割を持つ人との関わりがある
- 28.立場や役割を超えて協働する機会がある
- 30.人の挑戦に関わらせてもらえる機会がある

探究性に関わる学習環境

- 17.本音を気兼ねなく発言できる雰囲気がある
- 18.将来のことや実現したいことを話し合える大人がいる
- 24.周りの大人は、じっくりと話を聞き、考える手助けをしてくれる
- 31.お互いに問い合わせあう機会がある
- 36.生徒の意見が学校での意思決定に反映される雰囲気がある

社会性に関わる学習環境

- 19.地域から大切にされている雰囲気を感じる
- 25.地域の人や課題など、興味を持ったことに対してすぐに橋渡しをしてくれる大人がいる
- 29.地域の人や課題などにじかに触れる機会がある
- 32.自分の暮らす地域を、外からの視点で考える機会がある
- 34.地域に、尊敬している・憧れている大人がいる

設問一覧 (2/3)

WEB等での公開は不可

■自己認識

主体性に関わる自己認識

- 37.うまくいか分からることにも意欲的に取り組む
- 39.現状を分析し、目的や課題を明らかにすることができる
- 40.目標を設定し、確実に行動することができる
- 47.忍耐強く物事に取り組むことができる
- 51.自分にはよいところがあると思う
- 52.私は、自分自身に満足している
- 53.自分で計画を立てて活動することができる

協働性に関わる自己認識

- 42.相手の意見を丁寧に聞くことができる
- 43.自分とは異なる意見や価値を尊重することができる
- 44.共同作業だと、自分の力が発揮できる
- 49.自分の考えをはっきり相手に伝えることができる
- 50.友達の前で自分の意見を発表することは得意だ

探究性に関わる自己認識

- 38.家や寮で、誰かに言われなくても自分から勉強する
- 41.複雑な問題を順序立てて考えることが得意だ
- 45.情報を、勉強したことや知っていることと関連づけて理解することができる
- 46.勉強したものを実際に応用してみる
- 48.自分を客観的に理解することができる
- 54.一つ二つの立場だけでなく、できるだけ多くの立場から考えようとする
- 61.地域社会の魅力や課題について、自主的にテーマを設定し、フィールドワーク等を行いながら調べ、考える学習活動に対して、熱心に取り組んでいる
- 67.学校で学習することで、自分ができることやしたいことが増えている

社会性に関わる自己認識

- 55.18歳選挙権を取得したら、選挙に行くと思う
- 56.地域をよりよくするため、地域における問題に関わりたい
- 57.私が関わることで、変えてほしい社会状況が少し変えられるかもしれない
- 58.将来、自分の住んでいる地域のために役に立ちたいという気持ちがある
- 59.地域で起きている課題と世界で起きている課題は、お互いに関連しあっていると感じる
- 60.住んでいる地域の文化や暮らしの価値ある部分を、自らの手で未来に伝えていきたい
- 62.地域や社会で起こっている問題やできごとに関心がある
- 63.将来、自分のいま住んでいる地域で働きたいと思う
- 64.将来、見知らぬ土地でチャレンジしてみたい
- 65.将来の国や地域の担い手として、積極的に政策決定に関わりたい
- 68.自分の将来について明るい希望を持っている

■行動実績

主体性に関わる行動実績

- 71.授業で分からることについて、自分から質問したり、分かる人に聞きにいったりした
- 74.授業で興味・関心を持った内容について、自主的に調べ物を行った

協働性に関わる行動実績

- 72.自分の考えについて、様々な人に意見やアドバイスを求めた
- 73.友人などから、意見やアドバイスを求められた

探究性に関わる行動実績

- 75.授業の内容について、「なぜそうなるのか」と疑問を持って、自分で考えたり調べたりした
- 76.公式やまりを習う時、その根拠を理解するように、自分で考えたり調べたりした

社会性に関わる行動実績

- 69.いま住んでいる地域の行事に参加した
- 70.地域社会などでボランティア活動に参加した
- 77.先生、保護者以外の地域の大人と、なにげない会話を交わした

設問一覧（3/3）

WEB等での公開は不可



■ウェルビーイング

主体性に関わるウェルビーイング

81.今の生活全般の満足度

82.普段のあなたの幸福度

83.現在の日常生活に不安や心配事がない

協働性に関わるウェルビーイング

66.この学校に入ってよかったと思う

84.学校の一員だと感じている

85.大切な人を幸せにしたり、楽しませたりしていると思う

探究性に関わるウェルビーイング

68.自分の将来について明るい希望を持っている

86.自分の将来についての見通し（将来こういう風でありたい）を持っている

87.自分の将来に向けて大切だと思うことを実行している

社会性に関わるウェルビーイング

58.将来、自分の住んでいる地域のために役に立ちたいという気持ちがある

60.住んでいる地域の文化や暮らしの価値ある部分を、自らの手で未来に伝えていきたい

88.この地域を、将来暮らす場所としておすすめできる

89.日本の将来は明るいと思う

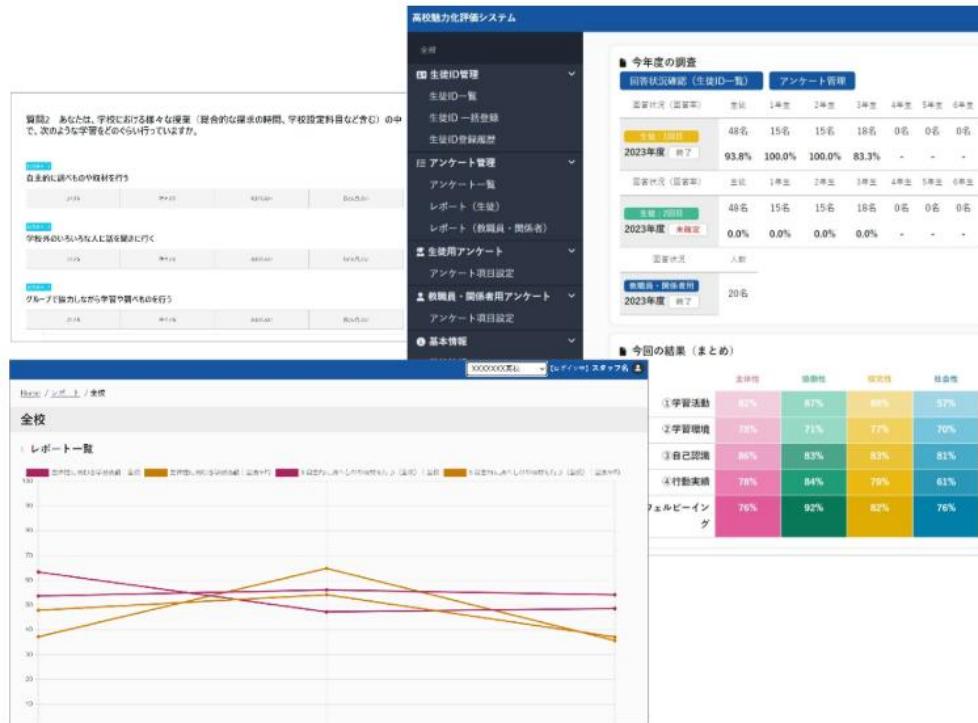
2024年度全国47都道府県367校、約12万人の高校生が回答

高校魅力化評価システム

「高校魅力化評価システム」は、学校や地域における学習環境と、生徒の資質・能力の成長・ウェルビーイングを可視化し、教育の質の向上や地域との協働に活用できる診断ツールです。

管理画面

- ・診断結果は、管理画面よりレポートにて確認できます
- ・学年別、全国平均値との比較が可能



三菱UFJリサーチ&コンサルティング



地域・教育魅力化
プラットフォーム
Platform for Sustainable Education and Community

三菱リサーチ&コンサルティング株式会社と(一財)地域・教育魅力化プラットフォームにて共同開発

主な活用 シーン

高校の教育改善から行政施策まで
多様な場面で活用可能

1 教育の質向上とエビデンスの確保

教育活動や学校独自の取り組みを定量評価し、PDCAを推進

2 学校の特色や強みの発信

学校の特色をデータで示し、広報や保護者説明に活用

3 政策立案や組織運営への活用

行政内の予算協議やプロジェクトの成果検証

アンケート調査

WEB上でのアンケート（40分程度）

- ✓ 高校生向け
- ✓ 教員及び関係者向けアンケート（1回のみ）

実施時期

年2回推奨
1学期に1回目

結果をもとに関係者で振り返り、「次の一手」の検討にお役立てください

活用事例レポートについてはこちらから https://www.murc.jp/library/report/seiken_220310_3/